

# 浜田まさよし通信

HAMADA MASAYOSHI NEWS



桜木町駅前街頭演説 11月19日～12月3日



参議院本会議 11月2日

前通常国会で参議院から問責決議を突き付けられた野田総理は打開策を示さず、10月29日に開会された臨時国会では、所信表明演説が参議院では行えないという憲政史上における汚点を残してしまいました。11月2日、その問題点をたぐす緊急質問が27年ぶりに行われ、公明党を代表して質問に立ちました。

本格的な経済対策が急務です。補正予算を回避した野田政権の予備費の経済対策では不十分。むしろ、赤字国債を増やすばかりという矛盾点を追及。早急に解散し、新政権での大型の補正予算、来年度予算編成、税制改正を求めました。

そして迎えた衆議院解散総選挙。浜田まさよし、自身自身が候補者になった決意で、桜木町駅前での毎朝の街頭、主要駅での休日の応援街頭を戦い抜きました！皆様のご声援、本当にありがとうございます。



JR武蔵溝の口駅前街頭演説 11月23日

横浜駅西口街頭演説 11月24日

桜木町駅前街頭演説 11月19日～12月3日

## 野田首相問責に緊急質問 衆議院解散総選挙へ！

新政権での経済対策・予算編成のための衆議院解散を求め、選挙戦を戦い切りました！

### 核廃絶への取り組み



外務省軍縮部長への緊急提言 10月18日

**核兵器の非人道性を世界に発信**

10月18日、急ぎよ、座長を務める公明党核廃絶推進委員会として外務省・軍縮部長に緊急申し入れを行いました。前日夜、ニューヨークからの国際電話。国連総会で34カ国が核兵器の非人道性について共同声明を出そうとしているのに、日本政府が参加しようとしていないとのNGOからの悲鳴でした。

翌19日。閉会中にもかかわらず、同僚議員がその返答を迫るために緊急質問。答弁に立った民主党の外務大臣政

務官は、「我が国安全保障政策と一致しない」として拒否したのです！

このような我が国・民主党政権の「ていたらく」を、世界に発信すべく、10月27日付け、ジャパン・タイムズに特別寄稿。公明党の素早い対応にNGOの皆さまから高く評価を頂きました。核兵器の非人道性を世界へ発信、さらに進めて参ります。



The Japan Times (10月27日付)

### IPS細胞とツナグ公明党 さい帯血を



党プロジェクトチーム会合で 10月18日

**党再生医療P.Tで 山中教授講演会**

10月18日、副座長を務める党再生医療推進プロジェクトチームで、ノーベル賞を受賞された山中伸弥京都大学教授、国際さい帯血患者支援の会有田美智世理事長をお招きし、今後のiPS（人工万能）細胞の早期実用化についての講演会を開催しました。

山中教授から提案があったのは、公明党が長年進めてきたさい帯血バンクのiPS細胞への再利用。

パーキンソン病や脊髄損傷などにiPS細胞を移植するためには、事

前にHLA型という拒絶反応の検査に巨額な費用がかかります。

しかし、既にさい帯血バンクにはHLA型が検査されたサンプルが3万本もあり、赤ちゃんのへその緒から採取して10年以上経過し、白血病の治療に適さなくなったものから「iPSバンク」へ。

まさに「日本発」の再生医療、実現に取り組みます！



山中教授、有田理事長とともに 10月18日

### 浜田まさよし PROFILE — 今、神奈川、静岡、福島を中心に活動展開中！ —

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち ● 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選。平成22年再選、現在2期目。元外務大臣政務官、参議院予算委員会理事、元法務委員長、公明党参議院政審会長、党団体局長、同原発災害対策本部事務局長、同中小企業活性化対策本部事務局長、同核廃絶推進委員会座長、同福島復興再生推進プロジェクトチーム事務局長、同通学路の安全対策プロジェクトチーム座長、同神奈川県本部代表代行、同静岡県本部顧問、同福島県担当 等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長

メールマガジン 毎週月曜日配信中!



登録用QRコード 空メールを送れば 登録完了です。



# 子どもたちの瞳輝く社会を目指して!

いじめの激化、不登校・中途退学、さらには「脱法ハーブ」。夜回り先生とともに奮闘中です。

## 再チャレンジ社会へ

### 高校卒業程度認定合格者の活躍の場を 4回にわたる質問主意書で大きく拡大!

横浜市在住の加茂治男さん(21)は高校2年生の夏に体調を崩し、そのまま中退を余儀なくされましたが、「大学に行きたい」と高校卒業程度認定試験に挑戦し、09年に見事合格。もともと英語が好きだった治男さんは米国の大学の日本キャンパスへの進学を選択。しかしそこで大きな壁に…。日本学生支援機構の奨学金を申し込んだところ、「高卒認定試験合格者は利用できない」と冷たい返事を受けたのです。



奨学金制度改善を喜ぶ加茂さん親子

「こんな差別はあっていいのでしょうか?」昨年8月に母親の裕子さんからメールを受け取った浜田まさよし。まず2度にわたる質問主意書で、①高卒認定試験合格者の予約申請も可能とし、その旨を支援機構ガイドブックに大きく記載(11年9月)、②認定試験合格者の海外の大学進学にも対象拡大(11年12月)を実現しました(9月1日公明新聞より)。

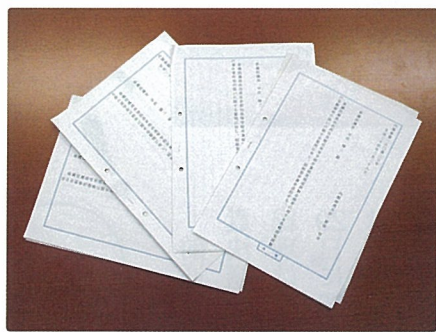
### 資格取得でも高卒扱いに!

一方、国家資格においても高校卒業程度認定試験を「高卒」と扱うことが必要です。③1級及び2級作業環境測定士などの「受験資格」において高卒扱いとし(12年3月)、④ボイラー・タービン技術者や食品衛生管理者などの7つの国家資格の「選任資格」でも高卒扱いと

なり、今後国家資格においては、特段の事由がある場合を除き、「高卒と同等と扱う」との閣議決定(12年9月)を質問主意書で勝ち取りました。再チャレンジ社会へ、さらに進めます!

### 高校卒業程度認定試験とは

公明党の推進で、大学受験資格のための「大検」制度が05年から「高卒認定試験」としてスタートしました。中卒者や高校中退者など16歳以上が対象で年間3万人が受験し、1万人前後が「高卒程度認定」を受けています。試験は年2回行われ、科目は最大9科目ですが高校在学中に取得した単位があれば免除されるほか、何回でも受験できるので1科目ずつ受験することも可能。合格者の約半数は10代ですが昨年度の最高齢は81歳でした。



4回の質問主意書

詳しくは [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shiken/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/index.htm)

## 省庁の壁越えた「いじめ対策」を! 夜回り先生・水谷修氏講演

2011年10月の大津市立中2男子のいじめ自殺という悲しい出来事、決して繰り返してはなりません。高校の同級生でもある水谷修氏を党のプロジェクトチームに招き、抜本的対応のあり方について意見交換を行いました。

「いじめは文部科学省だけでは解決できない。警察や法務省など全庁的な取り組みが不可欠。いじめは人権問題。」との指摘を受け、全国1万4千名もの人権擁護委員の積極的活用を、文部科学省・法務省に緊急要請しました。



党プロジェクトチーム会合 11月6日

## 脱法ハーブ規制強化を急げ!

### 包括指定が導入に! 取締強化の議員立法を提出!



党プロジェクトチーム副座長として国立精神・神経医療研究センターで意見交換 9月4日

お香や芳香剤(アロマ)と称して販売されている「脱法ハーブ」。横浜の26歳男性をはじめ4名が吸引して急死しているほか、大阪などでは幻覚症状で車を暴走させる事故も発生しています。あくまで、パッケージには「吸引しないで下さい」と書いてあるので規制できないという現状。しかし、厚生労働省の調査では、全国29都道府県で389事業者が存在することが判明。なんと、横浜市旭区では「自動販売機」もあったのです!

### 現行規制の問題点

麻薬取締法などでは禁止できなくとも、このような保健衛生上危害を発生させるおそれがあるものを「指定薬物」として規制する仕組みが2007年からスタートし、現在90物質が規制されています。しかし、今回問題となっているのは、化学構造を少しずつ変えたものが次々と出てくるという現象…。また、疑わしい物が販売さ



実際に市販されていたものの例

れているにもかかわらず、薬事法の規制では、その「物」を購入しなればならず、相手が販売を拒めば、取り逃がすという事態も…。

### 質問主意書と議員立法で推進

本年5月に質問主意書で政府に迫り、対象物質の包括指定制の導入、また、麻薬取締官が取り締まることにより、疑わしい物を収去できるよう法改正も、「可能な限り早期」に行うことが閣議決定!

包括指定は11月28日、遂に厚労省審議会で決定しました。しかし、野田民主党政権は結局、通常国会で取締強化の法案提出を行いま



議員立法提出 9月5日

1月からの通常国会。なんとでも法案の早期成立を目指して参ります!